



# 札幌ドーム「大和プレミスト」に

札幌ドーム(札幌・豊平区)の呼称が8月1日から「大和ハウスプレミストドーム」になった。これまでドームの管理、運営を担ってきた第三セクター「札幌ドーム」が、大和ハウス工業(大阪市)とネーミングライツ(施設命名権)契約を締結した。愛称は同社が供給する分譲マンションのブランド名「プレミスト」にちなむ。両社によると、契約期間は4年間、契約金額は双方の取り決めで非公表としている。

## 第3セクター、命名権で大和ハウスと契約



愛称が「大和ハウスプレミストドーム」になった札幌ドーム(北海道新聞社提供)

大和ハウス工に、最大の努力をしていく」と業は命名権を取ると話した。秋元克広札幌市長は「大和ハウス工業に大変感謝している。愛され親しまれ期待できる」とも述べ、札幌市も連携して取り組んでいくとコメントを発表した。札幌ドーム社は今年1月、希望価格が2億5000万円以上、契約期間2〜4年の条件で募集を開始したが、期限の2割を過ぎた。当面は命名権収入が見込めず、収支改善に努めることになり、収入源の確保が課題だ。ドーム社は、プロ野球北海道日本ハムが本拠地を北広島市の「エスコンフィールド北海道」に移転して、初の決算となった2024年3月期で6億5100万円の赤字を計上。日ハム戦に変わる「収入源」の確保が課題だ。ドーム社は、プロ野球北海道日本ハムが本拠地を北広島市の「エスコンフィールド北海道」に移転して、初の決算となった2024年3月期で6億5100万円の赤字を計上。日ハム戦に変わる「収入源」の確保が課題だ。

# 食料自給率道内は218%

## 6年連続で全国トップ

農林水産省が発表した2023年度のカロリーベースの食料自給率によると、北海道は218%で、6年連続の首位になった。全国の自給率は3年連続38%となり、30年度に45%への引き上げを目指す政府目標を下回る状況が続いている。

## 全国は3年連続38% 農水省 都道府県別2位は秋田県に

食料自給率は、国内で消費した食料のうち国産でどの程度を賄っているかを示す指標。食料の重量を熱量に換算したカロリーベースは10年度に40%を下回り、11年度以降は37〜39%で推移している。一方、金額に換算した生産額ベースの自給率は61%。1965年度以降で最低だった2022年度を3割上回った。政府は30年度までに75%に引き上げた

大消費地の東京都は0%、大阪府が1%だった。生産額ベースでは、道内は4位で、和牛の生産が盛んな宮崎県が1位。23年度は道内が主産地の小麦の生産量が増えたものの、国内では北海道だけで作られているテンサイ(ビート)の糖度低下による製糖量の減少が、押し下げ要因となった。

期待がかかる。札幌ドームは2001年開場。サッカーと野球の兼用スタジアムで、どちらの試合もできるような芝生の地面を画期的な可動式にしたことで知られる。サッカーの韓国ワールドカップでも使用された。施設は札幌市所有。

## 道内の人口503万人に 福岡県に抜かれる



札幌市も人口が減っている(北海道新聞社提供)

総務省が発表した、今年1月1日時点の人口動態調査によると、北海道の日本人の人口は前年比5万6603人減(1.11%減)の503万9100人と26年連続で減少した。減少は12年連続で全国最多。道内の外国人を含む人口は509万3983人。福岡県(509万5379人)を初めて下回り、都道府県別の人口規模が8位から9位に後退した。外国人を含む全国の総人口は同53万1702人減(0.42%減)の1億2488万5175人。このうち日本人は86万1237人減(0.7%減)の1億2156万1801人。減少幅は1968年以降で最大。調査開始以来、最大と加速している。道内主要都市の日本人人口も軒並み減少。札幌市は前年比で4800人減り、函館市は4483人減り、旭川市は4034人減った。増えたのは千歳市(222人増)の2市町にすぎなかった。

### 新入会員

### 正会員

★さつばる探見 ちよつとディープなまち歩き 杉浦正人著 A5判 192頁 定価1870円  
札幌10区、20地域の歩くコースと見どころポイントを探して「見」つけるまち歩きガイドの決定版。歴史的建造物や古くからの道、施設、河川などを写真や地図とともに紹介。  
★言葉の現在地 2017・2024 関口裕士著 四六判 368頁 定価1980円  
「希望は、戦争」の赤木智弘から黒柳徹子まで、忘れてはいけないニュースの言葉を取り上げた北海道新聞の好評連載企画を単行本化。  
★年表と写真で見る北海道の国鉄 電化から民営化まで 原田伸一・杉山茂・奥野和弘・奥野満希子著 B5判 272頁 定価3630円  
1966年から1987年まで、北海道の国鉄の歩みを詳細な年表と600枚超の貴重な写真で再現したビジュアル記録集。  
★セイコーマート今年も満足度1位 価格で顧客の高い支持

## よつ葉乳業、東京に直営店オープン 首都圏でブランドの浸透目指す



庭用の全商品をそろえた直営店をオープン、人気を集めている。道内市場の今以上の開拓が難しい中、大消費地・東京に本格進出して、「よつ葉ブランド」の浸透を

よつ葉乳業(札幌、北海道倶楽部会員)が7月、東京・恵比寿の大型商業施設「恵比寿ガーデンプレイス」に、家構え、広さは約260平方メートルの直営店をオープンした。店舗は「よつ葉ミルクプレイス」II写真。タワー棟地下1階に店舗を構え、広さは約260平方メートル。家族連れや観光客の来客が予想される。よつ葉乳業は、北海道産の生乳を原料とした、高品質の牛乳を製造している。直営店の開設は、首都圏でのブランドの浸透を目指す。また、直営店を北海道酪農の発信の場とも位置付け、店内で酪農家と消費者の交流会も検討。複合的な取り組みの相乗効果で、首都圏によつ葉ブランドを広めたいと考えた。

産学官でつくるサービス産業生産性協議会(東京)が発表した、2024年度顧客満足度調査のコンビニエンスストア部門で、道内大手のセコマ(札幌)が運営するセイコーマートが、9年連続で1位になった。同協議会は「他の大手コンビニがコストパフォーマンスで評価を落とす中、セコマは価格面で特に高い支持を得ていた」と評価した。コンビニ部門の対象は大手チェーン。調査は5月、月2回以上利用する約400人に、インターネットを通じて商品の品質や従業員の対応など110の質問を行った。集計の結果、セイコーマートの顧客満足度は77.2点で首位を維持。2位はデイリーヤマザキの68.9点、3位はファミリーマートの67.8点だった。セコマは「お客様の評価は大変ありがたい。今後も地域の皆さまに必要とされるお店を目指していきたい」と話している。同調査ではこのほか、飲食の洋食レストランチェーン部門でアレフ(札幌)が全国展開するびつくりドンキー、ドラッグストア部門でツルハ(同)のツルハドラッグがそれぞれ2位に入った。



どさんこプラザ誕生25周年を記念し、有楽町店では『振興局フェア』を開催しています！  
北海道各地の自慢の食をご用意。皆様のご来店をお待ちしています。

北海道 どさんこプラザ  
Hokkaido Dosanko Plaza



鈴木直道北海道知事と有楽町店長

- 根室 10/30(水)~11/5(火)
  - 檜山 11/6(水)~11/12(火)
  - 檜山 11/6 ~ 11/12 ※羽田空港店で開催
  - 留萌 11/13(水)~11/19(火)
  - 日高 11/27(水)~12/3(火)
  - 渡島 12/4(水)~12/10(火)
  - 十勝 12/11(水)~12/17(火)
  - 後志 12/18(水)~12/24(火)
  - 釧路 2025/2/19(水)~2/25(火)
- 空知、石狩、胆振、上川、宗谷、オホーツクは終了しました

北海道 どさんこプラザ  
Hokkaido Dosanko Plaza

(有楽町店)  
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館1階  
tel.03-5224-3800  
営/10:00~20:00 年中無休(年末年始を除く)  
<https://www.maruiimai.mistore.jp/common/dosanko.html>  
3階「どさんこ旅サロン」にも、是非お立ち寄りください。

首都圏百貨店で、『北海道の物産と観光展』を開催しています！

埼玉 そごう大宮店 10/4(金)~16(水) 丸広百貨店川越店 10/23(水)~11/4(月)

千葉 高島屋柏店 10/9(水)~22(火) 東武百貨店船橋店 10/2(水)~15(火)  
そごう千葉店 10/24(木)~11/10(日)

東京 高島屋日本橋店 10/2(水)~14(月) 高島屋玉川店 9/11(水)~24(火)  
高島屋新宿店 10/23(水)~11/5(火) 東武百貨店池袋店 9/12(木)~25(水)

神奈川 高島屋横浜店 10/16(水)~29(火) そごう横浜店 9/11(水)~10/1(火)



行くと面白い情報、発見があります！

首都圏で唯一の『北海道観光案内所』。  
専門スタッフが旅の相談も承っております。



道内各地  
約300種類  
パンフレット



旬の北海道の旅・総合相談センター  
どさんこ旅サロン  
東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館3階  
tel.03-6206-3163  
営/月~金 11:00~19:00  
休/土・日・祝日・年末年始  
<https://www.visit-hokkaido.jp/dosanko/>



# 幌加内発の「そばビール」誕生

## ふすま粉を使用、香り豊かな味わい

そばを活用した地域活性化やビジネス創出に取り組む、東京のスタートアップ企業(新興企業)が、上川管内幌加内町名産のそばを製粉する際に出る副産物で、多くが捨てられていた「ふすま粉」を使いクラフトビールを「開発」、首都圏で販売を始めた。同町はそばの作付面積が日本一、今後、首都圏からの観光や農業体験など誘客事業にも乗り出す考えだ。

この企業は「Tsunagi」(つなぎ)。大手IT企業に勤める、そば好きの桑岡翔吾さん(東京在住)が昨年11月、設立した。「大好きなそばの魅力」を発信したい。1地元農家とも協力、新たな取り組みに向け検討を続

けられた。こんな中で、他の産地との差別化を図る狙いから、未利用資源のそば粉を「副産物・ふすま粉」に着目。「そば屋で飲める」商品としてクラフトビールの農家とも協力、新たな商品にたどり着いた。商品名は「アップサイクル」

# 道警、美唄など小規模7署を統合

## 64から57署体制へ

道警は小規模警察署7署の統合・再編案を公表した。2026年4月に美唄署(赤平市)、芦別署(木古内署(渡島管内)、池田署、興部署の6署を、27年4月以降のできるだけ早い時期に寿都署(後志管内)を隣接する警察署に統合する。

それぞれ統合する。統合される署は分庁舎とする計画で、警視の所長を含め13人を配置する。実現すると、道内の警察署は64署から57署に。統合対象の7署は警員数が50人以下と少なく、交番・駐在所や当直の体制が不十分だった。統合先の署は人員が増えるため、刑事や交通など専門部署を強化、事件・事故に対応する。

また、分庁舎は運転免許の更新や相談窓口を継続地域のパトロールや防犯活動に当たる。また、分庁舎は運転免許の更新や相談窓口を継続地域のパトロールや防犯活動に当たる。

## 首都圏で発売、道内にも

蕎麦クラフト「Tsunagi」。主原料は麦とホップだが、ふすま粉を加えている。製造委託先のブルワリーと検討を重ねた結果、「そばビール」は苦みを抑えてほのかにそばの香りが残る味わいに。1本330ミリ入りで1100円。7月から都内の飲食店に卸しており、道内にも販路を広げたい意向だ。

桑岡さんは、首都圏の客を対象に、農作業やそば打ち体験ツアーも計画。これを足掛かりに、幌加内に人を呼び込むような事業を展開できると話している。

# PMFが今年も東京公演 首都圏のファンを魅了

札幌を中心に開かれた「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」(PMF、北海道倶楽部会員)の集大成となる、PMFオーケストラ東京公演が7月30日夜、東京・港区のサントリーホールで開かれ、世界的若手音楽家で構成する同オーケストラが2作品を演奏し、写真、PMF協奏曲第22番変ホ長調K.482とマーラー作曲の「交響曲第5番嬰ハ短調」を演奏した。



指揮者、マンフレート・ホーネックさんが指揮をとった。PMFオーケストラは、今年のPMFに参加した、世界的若手音楽家85人で編成する「ひと夏かぎりのオーケストラ」(組織委)国籍を超えて奏でる豊かなハーモニーが特徴だ。モーツァルトのピアノ協奏曲では、世界的なピアノ奏者のティル・フェルナーさんが共演。抒情豊かな演奏に、会場からは「ブラボー」、「アンコール」の声があふいた。

PMFは20世紀を代表する音楽家、レナード・バーンスタインの提唱で1990年、札幌で創設された。今年で34回目を迎えた。今年で78カ国・地域から延べ3800人以上の優秀な音楽家を輩出。その多くがソリスト、オーケストラ・メンバーとして活躍している。

計画通り実現すれば、砂川署が滝川署に、美深署が名寄署に統合された20年以降、警察署の統合・再編は条例改正が必要だが、芦別市が早くも芦別署の存続を求めている。安全を確保していくと、理解を求めている。

## 日ハム2軍道内移転か 鎌ヶ谷の老朽化などで

プロ野球北海道日本ハム(北海道倶楽部会員)が、千歳市にある2軍本拠地を道内に移転する構想を進めている。候補地は、春から秋にかけて行われ、球場の隣接地に、寮の老朽化、1、2軍が離れ

球団の構想によると、2軍の試合は降雪期を避けた春から秋にかけて行われ、球場の隣接地に、寮の老朽化、1、2軍が離れ

「交響曲第5番嬰ハ短調」を演奏した。指揮者、マンフレート・ホーネックさんが指揮をとった。PMFオーケストラは、今年のPMFに参加した、世界的若手音楽家85人で編成する「ひと夏かぎりのオーケストラ」(組織委)国籍を超えて奏でる豊かなハーモニーが特徴だ。モーツァルトのピアノ協奏曲では、世界的なピアノ奏者のティル・フェルナーさんが共演。抒情豊かな演奏に、会場からは「ブラボー」、「アンコール」の声があふいた。

PMFは20世紀を代表する音楽家、レナード・バーンスタインの提唱で1990年、札幌で創設された。今年で34回目を迎えた。今年で78カ国・地域から延べ3800人以上の優秀な音楽家を輩出。その多くがソリスト、オーケストラ・メンバーとして活躍している。



ストップ!20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。 www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

七飯町のご紹介

「都会と」繋がる、知られざる 北海道の快適なまち、七飯町

観光スポット

七飯町は北海道の南西部に位置し、北海道の表玄関である函館市に隣接しています。そのアクセスの良さから大沼国定公園や、北海道内上位人気の道の駅「なないろ・ななえ」など、多くのお客様にご来場いただいている人気な観光スポットになっています。以下に、七飯町の主な観光スポットについて紹介し



大沼国定公園 日本新三景に選定されている大沼国定公園。活火山である駒ヶ岳(1131m)と、その山麓に点在する大沼、小沼、専菜(じゅんさい)沼の大沼三湖に代表される湖沼群の地域で、山と水の変化に富んだ景観を一体的に含んでいます。明治期よりリゾート地として知られ、現在でも別荘が建てられており、避暑地としても人気なため四季折々の景色を楽しみながら自然のなかでリラックスすることができま



道の駅「なないろ・ななえ」 2017年に開業した道の駅なないろ・ななえ。開業当初から大盛況で毎年約100万人にご利用いただいております。施設内では、地元の特産品や農産物、加工品などを



隣接している商業施設「THE DANKSHAKU LOUNGE」は道内・近郊地域の食材を用い、薪を使ったライブキッチンを行っているため、施設内にはスモークな匂いが漂っており、来場者の五感を刺激します。そのほか、男爵いもの生みの親である川田男爵の歴史、農具等の展示物を通して近代農業の歴史、当時の生活様式を学ぶこともできるため道の駅な



販売しており新鮮な野菜、果物などは地元客にもお買い求めいただいております。また、飲食店も充実しており地元食材を使用したグルメもあるため旅の休憩スポットとしても人気。さらに、観光情報やイベント情報も提供しているため地域の魅力を知ることができ

七飯町へのアクセス URL: https://www.town.nanae.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000305.html http://onumakouen.com/access/ [Map showing routes to Nanai Town]



ないろ・ななえと同様に人気となっています。赤松並木 函館市桔梗町から七飯町峠下まで約14kmに渡って赤松が植えられているこの道は「日本の道百選」、長い歴史とその価値から「歴史国道」にも選定されています。その歴史は明治から始まっており、明治天皇が行幸されたのを記念して札幌本道(現在の国道5号線)沿いに移植されたのが赤松並木の始まり。初夏から秋にかけての季節が一番美しく、この時期は道路が緑のトンネルとなり、すばらしい景観が形成されてい



ます。中には樹齢1300年余に達しているものもあるため保護育成が進められています。七飯町は自然や歴史など様々な要素を楽しむことができます。町内には観光案内所もあり、七飯町のことを熟知している案内人が丁寧案内してくれます。観光客を温かく迎え入れる地元民と触れ合いながら心地よい時間を是非、七飯町でお過ごしください。 また、左記QRからは七飯町公式SNSアカウントを閲覧できますのでフォローよろしくお願いたし

市町村から

七飯町の美味しいもの 七飯町は西洋りんご発祥の地として知られており、「つがる」「ふじ」「レッドゴールド」などの基幹品種のほか、「ひめかみ」や新ブランドである「ななみつぎ」など多品種のりんごが栽培されています。中でも「ななみつぎ」は直近3年間の初競りで7玉10万円の値がつくほどの人気となっています。通称「フルーツロード」と呼ばれる町道沿いには多くの果樹園があり、もぎたてのフルーツをお楽しみいただけます。



七飯町にはお酒もたくさんあります。箱館醸蔵の日本酒「郷宝」はこだてわいんの「ななえシードル」、プロイハウス大沼のビール「大沼ビール」は特に道の駅やオンラインショップでも大人気となっています。

箱館醸蔵「郷宝」 郷土の宝である米と水を使い、蔵人たちが情熱を注いで醸したお酒です。 ・はこだてわいん「函館ななえシードル」 七飯町で収穫されたりんご100%使用のシードル。泡がきめ細かく非常に繊細で、りんご本来の甘みや酸味もしっかりと残り、やや甘口の味わいです。 ・プロイハウス大沼「大沼ビール」 地ビールならではのまろ

移住POSSIBLE

「都会と」繋がる、知られざる北海道の快適なまち「七飯町」の住み心地、味わってみませんか? 七飯町に移住を希望・検討している方を対象に、宿泊費用を半額割引します(1人1泊最大1万5000円まで)。また、レンタカーを無料で利用する事が可能です(ガソリン代・補償料を除く)。 令和6年7月16日(火)から受付・事業を開始しているため、七飯町での暮らしを体験したい方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。 〇新幹線、飛行機、フェリー、全ての方法で、各方面からアクセス可能です。七飯町中心部から、新函

館北斗駅(新幹線)まで車で約10分、函館空港まで車で約20分、青函フェリーと、18歳以下医療費無料など、充実した医療費助成制度で子育て世代をサポートしています。また、函館市街地まで車で約15分のため、大型商業施設への買い物が便利です。さらに、ラムサール条約登録地がある大沼国定公園まで車で約15分のため、全ての方面へアクセスがスムーズです。 〇大自然と利便性が共存しており、快適な生活環境が整い大変魅力です。 〇大沼と利便性が共存している、実際に住んでいる人々への調査「北海道内住みこころランキング」では、道南エリア1位の評価を得ています。函館市の隣にあり、アクセスがスムーズであることや、本州へのアクセスがスムーズであ

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性がございます。ご了承ください。

七飯町は北海道の南に位置しており、西洋りんご発祥の地として有名で、雄大な自然に囲まれた地元の恵みを活かした返礼品を数多く用意しております。ふるさと納税を財源として実施している主な事業内容としては、教育振興事業(小・中学校の振興に関すること)や観光PR事業(大沼観光の振興に関すること)、地域福祉活動事業(住民サービスの提供、地域福祉の推進に関すること)など多岐にわたります。ご寄付いただいている皆様におかれましては、ふるさと納税を通じて七飯町を支えていただき、心より感謝申し上げます。皆様のご寄付は、地域の発展や住民の生活向上に大いに役立てられております。今後とも七飯町の応援をよろしく願います。



大沼湖水まつり 七飯町を代表するイベントをご紹介します。大沼の花火は土地の性質上、通常の高さよりも低く打ち上げられるため大きく見えるのが特徴です。

ふるさと納税

七飯町は北海道の南に位置しており、西洋りんご発祥の地として有名で、雄大な自然に囲まれた地元の恵みを活かした返礼品を数多く用意しております。ふるさと納税を財源として実施している主な事業内容としては、教育振興事業(小・中学校の振興に関すること)や観光PR事業(大沼観光の振興に関すること)、地域福祉活動事業(住民サービスの提供、地域福祉の推進に関すること)など多岐にわたります。ご寄付いただいている皆様におかれましては、ふるさと納税を通じて七飯町を支えていただき、心より感謝申し上げます。皆様のご寄付は、地域の発展や住民の生活向上に大いに役立てられております。今後とも七飯町の応援をよろしく願います。